

住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		SH75X-7		
		仕様		標準仕様		
		適用号機		75X7-1101～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	min ⁻¹ min ⁻¹ (°C) (°C)	2000±20		
		ハイアイドルリング		1200±20		
		ローアイドルリング		(70～85)		
		(冷却水温)		(45～55)		
	(作動油温)					
	弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 (測定条件)	mm mm (°C)	—			
	圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	MPa kgf/cm2 (°C) (rpm)	—			
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力	MPa kgf/cm2	コモンレール		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] (中間を指で押す力) kgとNの両方で表記	mm N・m kgf	7.0～10.0 ファン～オルタネータブリー間 98 10		
走行装置	走行性能	最高速度	秒	3.4～5.2		
		[測定方法・条件]		(6m走行)		
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量) [測定方法・条件 (図面番号表示)]	mm	—	
		鉄シュー	張り(たわみ量) [測定方法・条件 (図面番号表示)]	mm	160～180	
			リンクピッチの伸び [測定方法・条件]	mm	154 (1リンク)	
		履板取付けボルト 締付けトルク [測定方法・条件]	N・m kg・m	220～270 22.4～27.6		

住友建機

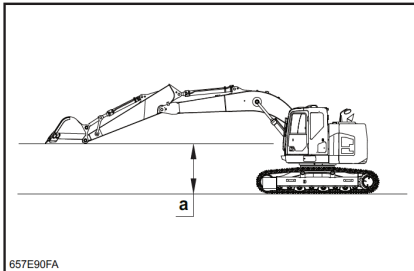
令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		SH75X-7	
		仕様		標準仕様	
		適用号機		75X7-1101～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置	mm	300	
		（測定時間）	(分)	(10)	
	（作動油温）	(℃)	(45～55)		
	作業装置姿勢		[図1参照]		
	（図面番号表示）				
	荷 重	kg・N			
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ	mm	0～9	
		アームシリンダ	mm	0～31	
		バケットシリンダ	mm	0～16	
		ブレードシリンダ	mm	0～12	
（作動油温）		(℃)	(45～55)		
作業機速度	ブーム上げ	sec	3.0～4.4		
	アームシリンダ伸ばし	sec	1.8～3.8		
		縮め	sec	1.9～3.1	
	バケットシリンダ伸ばし	sec	2.7～3.9		
		縮め	sec	1.6～2.8	
	性能測定条件 （荷重・設定モード等）		（空荷/SPモード）		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	29.4	
		性能測定条件 （設定モード等）	・油温 ・エンジン	kgf/cm2 (℃)	(50±5) (SPモード)
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウタレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	252～283.4 25.7～28.9	
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	252～283.4 25.7～28.9	
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	26.5～32.3 2.7～3.3	
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	272.6～317.7 27.8～32.4	
備考					

※SPモードは標準仕様です。

★印：新車基準値を表す。

住友建機		令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会		
適用範囲		モデル名	SH75X-7	
		仕様	クレーン仕様	
		適用号機	75X7-1101～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	1回転の所要時間	秒	5.8～8.0

住友建機		令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会	
項目	測定方法		
作業機自然降下 SH75X-7	シリンダ降下量		
	測定法		
	[1] 油温 45 ° C - 55 ° C (113.0 ° F - 131.0 ° F) 測定前に各シリンダに油を回す。(測定前と測定後の油温を記入)		
	[2] ブームフットピンとバケットピンの高さを同一とする。 アームシリンダは縮みエンド、バケットシリンダは開きエンド		
	[3] エンジンは停止		
	[4] ブーム、アーム、バケットシリンダのロッドの伸び量または、縮み量を 10 分後に測定する。		
	[5] 爪先の変位を 10 分後に各シリンダ移動量と一緒に測定する。		
	本体姿勢		
			
	a	同一高さ	